自治体名：岐阜県岐阜市

自動運転社会実装推進事業

最終報告書（公開版）

**【事業背景・目的】**

**持続可能な公共交通ネットワークを確保**するために、運転手不足や安全対策などの様々な課題に対する一つの解決策として、**公共交通への自動運転技術の導入が不可欠**だと考える。

　センターゾーンにおいて、**エリア間を繋ぎ、連携軸の強化**を図り、中心市街地における様々な施策との**相乗効果が生まれる**ことを目指すとともに、**「自動運転バスがいつも走っているまち」**を実現することで、**公共交通の魅力向上、シビックプライドの醸成**を図る。

**【事業内容】**

▶ 運行期間　　 　： 令和5年11月25日～令和10年3月31日（ **5年間** ）

▶ 運行時間帯　 ：　10時～16時

▶ 運行ルート

・中心部ルート　 ：　1日 12便（1時間あたり2本） 平日・土休日 2台運行

・岐阜公園ルート ：　1日 3便（2時間あたり1本） 土休日 1台運行

▶ 運行形式

・路線バス（定時定路線）

・原則**予約制**（空席がある場合は、予約なしでも乗車可能）

・**運賃無料**

**【検証項目・検証方法】**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 検証項目 | 検証方法 |
| 経営面 | 乗車人員 | 乗車人数の集計 |
|  |  |
|  |  |
| 技術面 | 中心部ルートにおける  自動運転割合 | 運行管理システムDispatcherによる集計 |
| 岐阜公園ルートにおける  自動運転割合 | 運行管理システムDispatcherによる集計 |
|  |  |
| 社会受容性面 | 自動運転技術の信頼性 | 利用者に対するアンケート調査 |
| 自動運転車両の許容度 | 利用者に対するアンケート調査 |
|  |  |

**【検証・分析結果】**　（※前章【検証項目・検証方法】と連動した報告内容を記載ください）

■経営面

▶ 乗車人数 ・ 属性

・1便当たり**平均約10人が乗車**

・令和5年11月の継続運行開始からの累計で、**乗車人数は5万6千人**を超え、北海道から沖縄まで

全国各地の行政機関、各市町議員視察、研究機関などの視察を受け入れ

・アンケート調査によると、**乗客の25％が県外から**となっており、昨年の調査結果と比較し**2％増加**

▶ 自治体予算

・2023年度から2027年度までの**5年間の自動運転バスの運行委託費用（722,000千円）を予算化**

**（債務負担行為R5.3.26議決）**している

■技術面

▶ 自動運転割合：89％

・段階的なインフラ整備と社会受容性向上の結果、**自動運転割合**は運行開始時と比較し**4%増加**

▶ 手動介入

◆　手動介入が発生する主な要因

① **路上駐停車の回避**

② **対向車の接近回避**

　 ◆　対策または解決の方向性

① 路上駐車を減らしていただくよう、**啓発活動等の継続実施**

② 自動運転車の認知を高めるため、**住民への協力依頼や啓発活動等の実施**

▶ インフラ整備

◆　**路車協調システム**

・R5には、1箇所において整備を完了（信号交差点の右折）

・加えて、整備が必要な2箇所（信号交差点の右折：1箇所、交通量の多い幹線道路への流入：1箇所）

において、路車協調システムを整備

◆　**信号協調システム**

・ルート上の信号交差点全36箇所において、段階的に信号協調システムを整備

■社会受容性面

▶ 乗客及びルート沿線住民に対するアンケート調査

　 ・**「自動運転技術への信頼性」**に関する設問では、乗車前で59％、乗車後には73%が信頼できると回答

　 　したことから、**乗車により自動運転技術への信頼性が向上**することを確認

・**「駐停車禁止への協力意向」**に関する設問では**、**昨年と比較し**2％増加**し**65％が協力できる**と回答

▶ 路上駐停車台数調査

　・各種取り組みの結果、**路上駐停車台数が約12％減少**